



■神淵山 龍門寺

1308年、岐阜長良に輪番制の寺として、福光山龍門寺が創建されました。戦国時代に兵火により焼失しましたが、創建後150年ほど後に、当地に移転されました。現在は臨濟宗妙心寺派の寺となっております。なお本堂は1830年に建築されたものです。

■本尊 釈迦如来

お釈迦さまは仏教の開祖であり、紀元前500年ぐらいに実在した人物です。本名をゴータマ・シッタールタと言いました。29歳で出家をして、修行に打ち込んだなかで真理を悟られます。以後、布教伝導の旅を続けられ80歳で亡くなりました。死後、現実の人格を超えて神格化が進み、礼拝の対象として釈迦如来となりました。お釈迦さまが説かれた「縁起(物事がお互いに関係し合っている四法印の教え)」「四諦(苦の本質、苦の原因、原因の消滅、苦の原因を取り除く方法の八正道)」の教えは今ここでも大切にされています。

当寺の本尊は因縁によって釈迦如来、脇に文殊菩薩、普賢菩薩、さらに観音菩薩、地蔵菩薩が安置されています。

■開山 一山一寧国師

初代住職の一山一寧禅師は中国の方で、1247年に浙江省でお生まれになりました。1299年に渡来され、初め鎌倉幕府の執権北条貞時公に招かれ建長寺に住持されました。後に後宇多上皇の懇請に応じ南禅寺に就任され、1317年に遷化されました。そして花園天皇より「一山国師」と諡号されました。師は南宋朱子学の新注を日本に伝え、書画に巧みで、弟子を育成し五山文学の祖とも言われています。0954/1000969.html)



0001_龍門寺



0002_龍門寺



0003_龍門寺



0004_龍門寺



0005_龍門寺



0006_龍門寺



0007_龍門寺



0008_龍門寺



0009_龍門寺



0010_龍門寺



0011_龍門寺



0012_龍門寺



0013_龍門寺



0014_龍門寺



0015_龍門寺



0016_龍門寺



0017_龍門寺



0018_龍門寺



0019_龍門寺



0020_龍門寺



0021_龍門寺



0022_龍門寺



0023_龍門寺



0024_龍門寺



0025_龍門寺



0026_龍門寺



0027_龍門寺



0028_龍門寺



0029_龍門寺



0030_龍門寺



0031_龍門寺



0032_龍門寺



0033_龍門寺



0034_龍門寺



0035_龍門寺



0036_龍門寺



0037_龍門寺



0038_龍門寺



0039_龍門寺



0040_龍門寺



0041_龍門寺



0042_龍門寺



0043_龍門寺



0044_龍門寺



0045_龍門寺



0046_龍門寺



0047_龍門寺



0048_龍門寺



0049_龍門寺



0050_龍門寺



0051_龍門寺



0052_龍門寺



0053_龍門寺



0054_龍門寺



0055_龍門寺



0056_龍門寺



0057_龍門寺



0058_龍門寺



0059_龍門寺



0060_龍門寺



0061_龍門寺



0062_龍門寺



0063_龍門寺



0064_龍門寺



0065_龍門寺



0066_龍門寺



0067_龍門寺



0068_龍門寺



0069_龍門寺



0070_龍門寺



0071_龍門寺



0072_龍門寺



0073_龍門寺



0074_龍門寺



0075_龍門寺



0076_龍門寺



0077_龍門寺



0078_龍門寺



0079_龍門寺



0080_龍門寺



0081_龍門寺



0082_龍門寺



0083_龍門寺



0084_龍門寺



0085_龍門寺



0086_龍門寺



0087_龍門寺



0088_龍門寺



0089_龍門寺



0090_龍門寺



0091_龍門寺



0092_龍門寺



0093_龍門寺



0094_龍門寺